

【平成 25 年度】

研究分担者：	前田 憲昭	(医療法人社団皓歯会 阪急グランドビル診療所)
研究協力者：	北川 善政	(北海道大学歯学部口腔診断内科)
	秋野 憲一	(札幌市保健福祉局 保健所 健康企画課)
	長坂 浩	(国立病院機構仙台医療センター 歯科口腔外科)
	高木 律男	(新潟大学大学院歯学研究科)
	大多和由美	(東京歯科大学水道橋病院 障害者歯科)
	宮田 勝	(石川県立中央病院 歯科口腔外科)
	宇佐美雄司	(国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科)
	有家 巧	(国立病院機構大阪医療センター 歯科口腔外科)
	柴 秀樹	(広島大学大学院 歯学部)
	吉川 博政	(国立病院機構九州医療センター 歯科口腔外科)
	溝部 潤子	(学校法人玉田学園 神戸常盤大学短期大学部)
	大西 正和	(日本銀行大阪支店歯科診療室)
	池田 正一	(神奈川歯科大学)
	樋口 勝規	(九州大学病院 口腔総合診療部 総合歯科学)
	高折 晃史	(京都大学大学院医学研究科)
	中川裕美子	(国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター)
	山田 瑛子	(新潟大学大学院歯学研究科)
	領家 和男	(鳥取大学医学部歯科口腔外科)
	田部 有子	(鳥取大学医学部歯科口腔外科)
	勝部恵理子	(鳥取大学医学部歯科口腔外科)
	入野田昌史	(宮城県歯科医師会)
	木村 純子	(宮城県歯科医師会)
	遠藤 英昭	(東北大学病院 特殊診療施設 クリーン歯科)
	濱本 宜興	(山形県立中央病院 歯科口腔外科)
	小野 芳男	(青森県立中央病院)
	北田 卯美	(医療法人社団皓歯会)
	鈴木 治仁	(東京都歯科医師会)
	三反田 孝	(広島県歯科医師会)
	鳥谷部純行	(北海道歯科医師会)
	倉本 早苗	(石川県庁健康福祉部)
	安平真理子	(石川県庁健康福祉部)
	江尻 重文	(石川県歯科医師会)
	松田 美奈	(石川県歯科医師会)
	吉澤 邦夫	(金沢大学)
	表 武典	(国立病院機構 金沢医療センター)
	立山由美枝	(国立病院機構 金沢医療センター)
	田中 眞也	(小松市民病院)
	亀田 希	(小松市民病院)
	石田 美樹	(富山県庁厚生部)
	横林 康夫	(富山県立中央病院)
	加藤 直美	(富山県立中央病院)
	井上 さやか	(富山大学医学部)
	大場 誠悟	(福井大学医学部)
	西山 美加	(福井大学医学部)
	鳥居 恵	(福井県庁健康福祉部)
	渡邊 拓磨	(福井県立病院)
	山田 和人	(福井赤十字病院)
	高崎 裕美	(福井赤十字病院)
	山田三枝子	(石川県立中央病院 HIV 情報室)
	辻 典子	(石川県立中央病院 HIV 情報室)

高木純一郎 (石川県立中央病院 歯科口腔外科)
 名倉 功 (石川県立中央病院 歯科口腔外科)
 宮浦 朗子 (石川県立中央病院 歯科口腔外科)
 山本 裕佳 (石川県立中央病院 歯科口腔外科)
 坂東 千雅 (石川県立中央病院 歯科口腔外科)
 越田 美和 (石川県立中央病院 歯科口腔外科)
 石高 眞衣 (石川県立中央病院 歯科口腔外科)
 早川 優 (石川県立中央病院 歯科口腔外科)
 土塩谷元子 (石川県立中央病院 歯科口腔外科)
 能島 初美 (石川県立中央病院 歯科口腔外科)
 半井 達也 (京都府健康福祉部健康対策課)
 丹治 和美 (京都府健康福祉部健康対策課)
 荒賀 陽子 (京都市保健福祉局)
 西脇かおり (京都市保健福祉局)
 竹本奈緒美 (医療法人社団皓歯会)

【平成 26 年度】

研究分担者： 宇佐美雄司 ((独)国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科)

研究協力者： 連 利隆 (大阪市健康局健康推進部)
 宮田 勝 (石川県立中央病院 歯科口腔外科)
 秋野 憲一 (札幌市保健福祉局 保健所 健康企画課)
 中川裕美子 (国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター)
 吉川 博政 (国立病院機構九州医療センター 歯科口腔外科)
 大西 正和 (日本銀行大阪支店歯科診療室)
 有家 巧 (国立病院機構 大阪医療センター 歯科口腔外科)
 樋口 勝規 (九州大学病院 口腔総合診療部 総合歯科学)
 溝部 潤子 (学校法人玉田学園 神戸常盤大学短期大学部)
 長坂 浩 (国立病院機構仙台医療センター 歯科口腔外科)
 大多和由美 (東京歯科大学水道橋病院 障害者歯科)
 池田 正一 (神奈川歯科大学)
 北川 善政 (北海道大学歯学部口腔診断内科)
 前田 憲昭 (医療法人社団皓歯会)
 北田 卯美 (医療法人社団皓歯会)
 高木 律男 (新潟大学大学院歯学研究科)
 遠藤 浩正 (埼玉県保健医療部健康長寿課)
 奈良 雅文 (静岡県健康福祉部医療健康局)
 五井 卓 (静岡県歯科医師会)
 岩重 洋介 (沼津市立病院 歯科口腔外科)
 長谷川和樹 (鈴岡市立静岡病院 口腔外科)
 葩島 桂子 (浜松医療センター 歯科口腔外科)
 安江 智雄 (岐阜県健康福祉部保健医療課)
 長瀬 好和 (岐阜県歯科医師会)
 柴田 敏之 (岐阜大学大学院医学研究科 口腔病態学)
 桑名 良尚 (三重県歯科医師会)
 奥村 健哉 (三重大学大学院医学研究科 口腔顎顔面外科)
 奥田 健司 (愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課)
 宮田 泰 (愛知県歯科医師会)
 總山 貴子 (国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科)
 菱田 純代 (国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科)

【平成 25 年度】

研究分担者： 池田 和子 ((独)国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター)

研究協力者：

渡部 恵子 (北海道大学病院)

大野 稔子 (北海道大学病院)

成田 月子 (北海道大学病院)

坂本 玲子 (北海道大学病院)

武内 阿味 (北海道大学病院)

伊藤ひとみ (NHO 仙台医療センター)

佐々木晃子 (NHO 仙台医療センター)

石塚さゆり (新潟大学医歯学総合病院)

川口 玲 (新潟大学医歯学総合病院)

浅田 裕子 (石川県立中央病院)

山田三枝子 (石川県立中央病院)

高山 次代 (石川県立中央病院)

羽柴知恵子 (NHO 名古屋医療センター)

前田 絵美 (NHO 名古屋医療センター)

北村玲美子 (NHO 名古屋医療センター)

水谷美枝子 (NHO 名古屋医療センター)

下司 有加 (NHO 大阪医療センター)

東 政美 (NHO 大阪医療センター)

鈴木 成子 (NHO 大阪医療センター)

中濱 智子 (NHO 大阪医療センター)

木下 一枝 (広島大学病院)

小川 良子 (広島大学病院)

池田 有里 (広島大学病院)

城崎 真弓 (NHO 九州医療センター)

長與由紀子 (NHO 九州医療センター)

石井 祥子 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

西城 淳美 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

服部 久恵 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

木下 真里 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

鈴木ひとみ ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

小山 美紀 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

谷口 紅 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

杉野 祐子 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

大金 美和 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

田沼 順子 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

塚田 訓久 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

照屋 勝治 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

潟永 博之 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

菊池 嘉 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

岡 慎一 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

【平成 26 年度】

研究分担者： 池田 和子 ((独)国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター)

研究分担者： 渡部 恵子 (北海道大学病院)
 大野 稔子 (北海道大学病院)
 成田 月子 (北海道大学病院)
 坂本 玲子 (北海道大学病院)
 武内 阿味 (北海道大学病院)
 伊藤ひとみ (NHO 仙台医療センター)
 佐々木晃子 (NHO 仙台医療センター)
 石塚さゆり (新潟大学医歯学総合病院)
 川口 玲 (新潟大学医歯学総合病院)
 浅田 裕子 (石川県立中央病院)
 山田三枝子 (石川県立中央病院)
 高山 次代 (石川県立中央病院)
 羽柴知恵子 (NHO 名古屋医療センター)
 前田 絵美 (NHO 名古屋医療センター)
 北村玲美子 (NHO 名古屋医療センター)
 水谷美枝子 (NHO 名古屋医療センター)
 下司 有加 (NHO 大阪医療センター)
 東 政美 (NHO 大阪医療センター)
 鈴木 成子 (NHO 大阪医療センター)
 中濱 智子 (NHO 大阪医療センター)
 木下 一枝 (広島大学病院)
 小川 良子 (広島大学病院)
 池田 有里 (広島大学病院)
 城崎 真弓 (NHO 九州医療センター)
 長興由紀子 (NHO 九州医療センター)
 石井 祥子 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 西城 淳美 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 服部 久恵 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 木下 真里 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 鈴木ひとみ ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 小山 美紀 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 谷口 紅 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 杉野 祐子 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 大金 美和 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 田沼 順子 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 塚田 訓久 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 照屋 勝治 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 潟永 博之 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 菊池 嘉 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))
 岡 慎一 ((独)国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発センター(ACC))

【平成 25 年度】

研究分担者：	山中 京子	(大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類)
--------	-------	------------------------

研究協力者：	辻 麻理子	(独立行政法人国立病院機構九州医療センター)
	阪木 淳子	(独立行政法人国立病院機構九州医療センター/公益財団法人エイズ予防財団)
	松岡亜由子	(独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター)
	塚本 琢也	(独立行政法人国立病院機構仙台医療センター/公益財団法人エイズ予防財団)
	高田知恵子	(秋田大学)
	嶋 篤子	(滋賀医大病院)
	長浦 由紀	(長崎大学病院)
	梅沢有美子	(福井大学保健管理センター)
	平塚 信子	(慈恵医科大学病院)
	加藤 朋子	(金沢市福祉健康センターこころの相談)
	高橋 義博	(大館市立総合病院)
	大川 満生	(北海道大学病院)
	早津 正博	(新潟大学医歯学総合病院)
	北 志保里	(石川県立中央病院/公益財団法人エイズ予防財団)
	仲倉 高広	(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
	鍛治まどか	(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
	喜花 伸子	(広島大学病院/公益財団法人エイズ予防財団)
	小松 賢亮	(独立行政法人国立国際医療研究センター病院)
	仲里 愛	(独立行政法人国立国際医療研究センター病院)
	渡邊 愛祈	(独立行政法人国立国際医療研究センター病院)

【平成 26 年度】

研究分担者：	山中 京子	(大阪府立大学 人間社会学部)
--------	-------	-----------------

研究協力者：	辻 麻理子	(独立行政法人国立病院機構九州医療センター)
	阪木 淳子	(独立行政法人国立病院機構九州医療センター/公益財団法人エイズ予防財団)
	松岡亜由子	(独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター)
	塚本 琢也	(独立行政法人国立病院機構仙台医療センター/公益財団法人エイズ予防財団)
	大川 満生	(北海道大学病院)
	早津 正博	(新潟大学医歯学総合病院)
	小松 賢亮	(独立行政法人国立国際医療研究センター病院/公益財団法人エイズ予防財団)
	仲里 愛	(独立行政法人国立国際医療研究センター病院/公益財団法人エイズ予防財団)
	渡邊 愛祈	(独立行政法人国立国際医療研究センター病院/公益財団法人エイズ予防財団)
	北 志保里	(石川県立中央病院/公益財団法人エイズ予防財団)
	古川 夢乃	(石川県立中央病院/石川県健康福祉部)
	森田 眞子	(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
	鍛治まどか	(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
	喜花 伸子	(広島大学病院/公益財団法人エイズ予防財団)
	浅井いづみ	(広島大学病院)
	高田知恵子	(秋田大学教育文化学部)
	嶋 篤子	(滋賀医科大学付属病院)
	平塚 信子	(滋賀県健康医療福祉部)
	長浦 由紀	(長崎大学病院)
	高橋 義博	(大館市立総合病院)
	梅沢有美子	(福井大学保健管理センター)
	加藤 朋子	(金沢星稜大学学生支援センター)

【平成 25 年度】

研究分担者： 田中千枝子 (日本福祉大学 社会福祉学部保健福祉学科)

研究協力者： 永見 芳子 (名古屋医療センター)
塚本 弥生 (広島大学病院)
友田 安政 (横浜市大病院)
隈村 綾子 (京都大学病院)
蔵田 裕 (新潟県福祉保健部健康対策課)
葛田 衣重 (千葉大学医学部附属病院)
藤平 輝明 (東京医科大病院)
山下美津江 (石川県立中央病院)
富田 健一 (北海道大学病院)
首藤美奈子 (九州医療センター)
小西加保留 (関西学院大学)
小竹美千穂 (信州大学病院)
杉本 香織 (名古屋医療センター)
伊澤 麻美 (大阪医療センター)

【平成 26 年度】

研究分担者： 田中千枝子 (日本福祉大学 社会福祉学部保健福祉学科)

研究協力者： 隈村 綾子 (京都大学病院)
蔵田 裕 (新潟県福祉保健部健康対策課)
葛田 衣重 (千葉大学医学部附属病院)
藤平 輝明 (東京医科大病院)
山下美津江 (石川県立中央病院)
富田 健一 (北海道大学病院)
首藤美奈子 (九州医療センター)
小西加保留 (関西学院大学)
小竹美千穂 (信州大学病院)

【平成 25 年度】

研究分担者： 小川 俊夫 (奈良県立医科大学 健康政策医学講座)

研究協力者： 荒木 容子 (大阪市立大学)
中嶋 紘子 (大阪市立大学)
円山 玲奈 (大阪市立大学)
樽井麻衣子 (大阪市立大学)
岸田 勇人 (奈良県立医科大学)
南里 直実 (奈良県立医科大学)
野村 真里 (奈良県立医科大学)
片岡 香苗 (奈良県立医科大学)
豊國 佳子 (奈良県立医科大学)

【平成 26 年度】

研究分担者： 小川 俊夫 (国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科)

研究協力者： 岡村世里奈 (国際医療福祉大学)
AUNG THIHA (国際医療福祉大学)
NYO MI SWE (国際医療福祉大学)
MYINT THAZIN AUNG (国際医療福祉大学)
KHOMSAK CHOOMPLANG (国際医療福祉大学)
NWE NI THEIN (国際医療福祉大学)
JIANG HONG (国際医療福祉大学)
SIM SOPHEAPNIKA (国際医療福祉大学)
WIN PA SANDAR (国際医療福祉大学)
YAMIN AYE (国際医療福祉大学)
KITTIMA WATTANAKAMOLKUL (国際医療福祉大学)
PHYOE PA PA MIN (国際医療福祉大学)
HNIN NGWE PHYU (国際医療福祉大学)
EI SHWE WIN (国際医療福祉大学)
MOE PA PA (国際医療福祉大学)
AYE MYAT MON (国際医療福祉大学)

【平成 25 年度】

研究分担者：	瀧永 博之	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
研究協力者：	岡 慎一	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	菊池 嘉	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	照屋 勝治	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	塚田 訓久	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	田沼 順子	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	矢崎 博久	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	本田 元人	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	渡辺 恒二	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	青木 孝弘	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	木内 英	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	西島 健	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	水島 大輔	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	山本 佳	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	谷崎隆太郎	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	石金 正裕	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	濱田 洋平	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	新藤 琢磨	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	柳川 泰昭	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	杉原 淳	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	柴田 怜	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	古川恵太郎	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	中野 彰子	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	池田 和子	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	大金 美和	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	杉野 祐子	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	伊藤 紅	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	小山 美紀	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	木下 真里	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	塩田ひとみ	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	中家奈緒美	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	中川裕美子	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	小松 賢亮	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	渡辺 愛祈	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	仲里 愛	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	服部 久恵	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	畑野美智子	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	西城 淳美	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	土屋 亮人	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	林田 庸総	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	高橋由紀子	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	根岸ふじ江	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	叶谷 文秀	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)
	城谷 茜	((独)国立国際医療研究センター)	エイズ治療・研究開発センター)

【平成 26 年度】

研究分担者： 潟永 博之 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

研究協力者： 岡 慎一 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 菊池 嘉 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 照屋 勝治 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 塚田 訓久 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 本田 元人 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 渡辺 恒二 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 青木 孝弘 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 木内 英 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 西島 健 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 水島 大輔 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 谷崎隆太郎 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 柳川 泰昭 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 柴田 怜 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 上村 悠 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 中野 彰子 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 池田 和子 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 大金 美和 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 杉野 祐子 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 伊藤 紅 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 小山 美紀 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 木下 真里 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 塩田ひとみ ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 中家奈緒美 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 中川裕美子 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 小松 賢亮 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 渡辺 愛祈 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 仲里 愛 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 服部 久恵 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 畑野美智子 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 西城 淳美 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 土屋 亮人 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 林田 庸総 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 高橋由紀子 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 根岸ふじ江 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 叶谷 文秀 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
 城谷 茜 ((独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

【平成 25 年度】

研究分担者： 杉浦 互 ((独)国立病院機構名古屋医療センター)

研究協力者： 吉田 繁 (北海道大学)
 湊永 博之 (国立国際医療センター)
 鯉渕 智彦 (東京大学医学部医科学研究所)
 加藤 真吾 (慶応大学)
 渡辺 大 (国立病院機構大阪医療センター)
 西澤 雅子 (国立感染症研究所)
 蜂谷 敦子 (国立病院機構名古屋医療センター)
 服部 純子 (DRP/NCI)
 松下 修三 (熊本大学エイズ学研究センター)
 宮崎菜穂子 (国立感染症研究所/東京大学医科学研究所)
 横幕 能行 (国立病院機構名古屋医療センター)
 和山 行正 (北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所)
 橋本 修 (三菱化学メディエンス)

【平成 26 年度】

研究分担者： 杉浦 互 ((独)国立病院機構名古屋医療センター)

研究協力者： 吉田 繁 (北海道大学)
 湊永 博之 (国立国際医療センター)
 鯉渕 智彦 (東京大学医学部医科学研究所)
 加藤 真吾 (慶応大学)
 渡辺 大 (国立病院機構大阪医療センター)
 西澤 雅子 (国立感染症研究所)
 蜂谷 敦子 (国立病院機構名古屋医療センター)
 服部 純子 (DRP/NCI)
 松下 修三 (熊本大学エイズ学研究センター)
 宮崎菜穂子 (国立感染症研究所、東京大学医科学研究所)
 横幕 能行 (国立病院機構名古屋医療センター)
 和山 行正 (北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所)
 橋本 修 (三菱化学メディエンス)

【平成 25 年度】

研究分担者： 吉野 宗宏 ((独)国立病院機構大阪医療センター 薬剤科)

研究協力者： 和泉啓司郎 (国立国際医療研究センター)
千田 昌之 (国立国際医療研究センター)
増田 純一 (国立国際医療研究センター)
酒井 真依 (国立国際医療研究センター)
植田 孝介 (北海道大学病院)
浅野 逸郎 (北海道大学病院)
國本 雄介 (札幌医科大学付属病院)
井上 正朝 (旭川医科大学病院)
佐藤 麻希 (国立病院機構仙台医療センター)
山田 徹 (新潟市民病院)
斎藤 直美 (新潟大学医歯学総合病院)
丸山 一郎 (新潟県立新発田病院)
下川千賀子 (石川県立中央病院)
杉浦 互 (国立病院機構名古屋医療センター)
柴田 雅章 (国立病院機構名古屋医療センター)
畝井 浩子 (広島大学病院)
濱本 京子 (広島大学病院)
藤田 啓子 (広島大学病院)
藤井 健司 (広島大学病院)
松本 俊治 (広島市立広島市民病院)
開 浩一 (広島市立広島市民病院)
井上 千鶴 (広島県立広島病院)
大石 裕樹 (国立病院機構九州医療センター)
嶺 豊春 (長崎大学医学部・歯学部附属病院)
新江 裕貴 (琉球大学医学部附属病院)
日笠 真一 (兵庫医科大学病院)
富島 公介 (国立病院機構姫路医療センター)
石樋 康浩 (大阪府立急性期・総合医療センター)
治田 匡平 (奈良県立医科大学附属病院)
市田 裕之 (大阪市立総合医療センター)
矢倉 裕輝 (国立病院機構大阪医療センター)
櫛田 宏幸 (国立病院機構大阪医療センター)

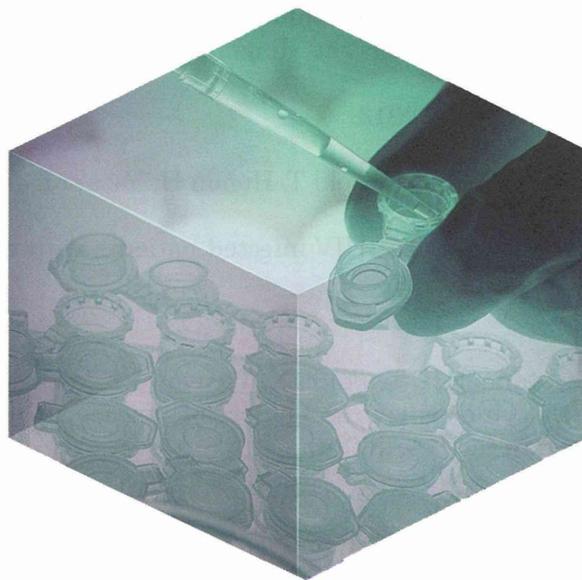
【平成 26 年度】

研究分担者： 吉野 宗宏 ((独)国立病院機構姫路医療センター 薬剤科)

研究協力者： 和泉啓司郎 (国立国際医療研究センター)
佐藤 麻希 (国立国際医療研究センター)
増田 純一 (国立国際医療研究センター)
原田 幸子 (北海道大学病院)
小林 洋平 (北海道大学病院)
國本 雄介 (札幌医科大学付属病院)
井上 正朝 (旭川医科大学病院)
阿部 憲介 (国立病院機構仙台医療センター)
山田 徹 (新潟市民病院)
内山真理子 (新潟市民病院)
斎藤 直美 (新潟大学医歯学総合病院)
丸山 一郎 (新潟県立新発田病院)
下川千賀子 (石川県立中央病院)
五十嵐俊明 (福井大学医学部附属病院)

福島 直子 (国立病院機構名古屋医療センター)
畝井 浩子 (広島大学病院)
藤田 啓子 (広島大学病院)
藤井 健司 (広島大学病院)
菅原 隆文 (広島市立広島市民病院)
常友 盛勝 (広島市立広島市民病院)
井上 千鶴 (広島県立広島病院)
井門 敬子 (愛媛大学医学部附属病院)
大石 裕樹 (国立病院機構九州医療センター)
日笠 真一 (兵庫医科大学病院)
石樋 康浩 (大阪府立急性期・総合医療センター)
治田 匡平 (奈良県立医科大学附属病院)
市田 裕之 (大阪市立総合医療センター)
矢倉 裕輝 (国立病院機構大阪医療センター)
櫛田 宏幸 (国立病院機構大阪医療センター)
富島 公介 (国立病院機構大阪医療センター)
藤田 晃介 (国立病院機構大阪医療センター)
中筋 早織 (国立病院機構大阪医療センター)

研究成果の刊行に関する一覧



Nishijima T, Takano M, Ishisaka M, Komastu H, Gatanaga H, Kikuchi Y, Endo T, Horiba M, Kaneda S, Uchiumi H, Koibuchi T, Naito T, Yoshida M, Tachikawa N, Ueda M, Yokomaku Y, Fujii T, Higasa S, Takada K, Yamamoto M, Matsushita S, Tateyama M, Tanabe Y, Mistuya H, and Oka S on behalf of the Epzicom-Truvada study team.

Abacavir/ Lamivudine versus Tenofovir/Emtricitabine with Atazanavir/ Ritonavir for treatment naïve HIV-infected Japanese: a randomized multisite trial.

Intern Med. 52:735-744, 2013.

Gatanaga H, Hayashida T, Tanuma J, and Oka S.

Protective effect of antiretroviral treatment for HIV infection against HBV infection.

Clin Infect Dis. 56(12):1812-1819, 2013.

Hamada Y, Nagata N, Shimbo T, Igari T, Nakashima R, Asayama N, Nishimura S, Yazaki H, Teruya K, Gatanaga H, Kikuchi Y, Akiyama J, Ohmagari N, Uemura N and Oka S.

Assessment of the antigenemia assay for the diagnosis of cytomegalovirus gastrointestinal diseases in HIV-infected patients.

AIDS Patient Care STD. 27(7):387-391, 2013.

Tanuma J, Sano K, Teruya K, Watanabe K, Aoki T, Honda H, Yazaki H, Tsukada K, Gatanaga H, Kikuchi Y, and Oka S.

Pharmacokinetics of rifabutin in Japanese HIV-infected patients with or without antiretroviral therapy.

PLOS One. 8(8):e70611, 2013.

Mizushima D, Nishijima T, Gatanaga H, Tsukada K, Teruya K, Kikuchi Y, Oka S.

Preemptive therapy prevents cytomegalovirus end-organ disease in treatment-naïve patients with advanced HIV-1 Infection in the HAART era.

PLOS One. 8(5):e65348, 2013.

Tsuchiya K, Ode H, Hayashida T, Kakizawa J, Sato H, Oka S, and Gatanaga H.

Arginine Insertion at Position 11 and Loss of N-linked Glycosylation Site in HIV-1 Env V3 Region Confer CXCR4-tropism.

Scientific Report. 3:2389, 2013.

Gatanaga H, Murakoshi H, Hachiya A, Hayashida T, Ode H, Sugiura W, Takiguchi M, and Oka S.

Rilpivirine-Resistant HIV-1 Naturally Selected by Host Cellular Immunity.

Clin Infect Dis. 57(7):1051-1055, 2013.

Hamada Y, Nishijima T, Watanabe K, Komatsu H, Teruya K, Gatanaga H, Kikuchi Y, and Oka S.
Is Ritonavir-Boosted Atazanavir a Risk for Cholelithiasis Compared to Other Protease Inhibitors?.

PLOS One. 8(7):e69845, 2013.

Nishijima T, Gatanaga H, Komatsu H, Takano M, Ogane M, Ikeda K, and Oka S.

Illicit drug use is a significant risk factor for loss to follow up in patients with HIV-1 infection at a large urban HIV clinic in Tokyo.

PLOS One. 8(8):e72310, 2013.

Nishijima T, Gatanaga H, Shimbo T, Komatsu H, Ishisaka M, Tsukada K, Endo T, Horiba M, Koga M, Naito T, Itoda I, Tei M, Fujii T, Takada K, Yamamoto M, Miyakawa T, Tanabe Y, Mitsuya H, and Oka S on behalf of the SPARE study team.

Switching tenofovir/emtricitabine plus lopinavir/r to raltegravir plus darunavir/r in patients with suppressed viral load does not result in recovery of renal function but could sustain viral suppression: A randomized multicenter trial.

PLOS One. 8(8):e73639, 2013.

Watanabe K, Murakoshi H, Tamura Y, Koyanagi M, Chikata T, [Gatanaga H](#), [Oka S](#), and Takiguchi M.

Identification of cross-clade CTL epitopes in HIV-1 clade A/E-infected individuals by using the clade B overlapping peptides.

Microb Infect. 15:874-886, 2013.

Nishijima T, [Gatanaga H](#), Komatsu H, Takano M, Ogane M, Ikeda K, [Oka S](#).

High prevalence of illicit drug use in men who have sex with men with HIV-1 infection in Japan.

PLOS One. 8(12):e81960, 2013.

Mizushima D, Tanuma J, Kanaya F, Watanabe K, Nishijima T, [Gatanaga H](#), Lam NT, Dung NTH, Kinh NV, and [Oka S](#).

WHO antiretroviral therapy guidelines 2010 and impact of tenofovir on chronic kidney disease in Vietnamese HIV-infected patients.

PLOS One. 8(11) :e79885, 2013.

Nishijima T, Hamada Y, Watanabe K, Komatsu H, Kinai E, Tsukada K, [Teruya K](#), [Gatanaga H](#), Kikuchi Y, and [Oka S](#).

Ritonavir-boosted darunavir is rarely associated with nephrolithiasis compared with ritonavir-boosted atazanavir in HIV-infected patients.

PLOS One. 8(10):e77268, 2013.

Nishijima T, Shimbo T, Komastu H, Hamada Y, [Gatanaga H](#), and [Oka S](#).

Incidence and risk factors for incident hepatitis C infection among men who have sex with men with HIV-1 infection in a large urban HIV clinic in Tokyo.

JAIDS (Brief Report). 65(2):213-217, 2014.

Nishijima T, [Gatanaga H](#), and [Oka S](#).

Traditional but not HIV-related factors are associated with nonalcoholic fatty liver disease in Asian patients with HIV-1 infection.

PLOS One. 9(1):e87596, 2014.

Hamada Y, Nagata N, Nishijima T, Shinbo T, Asayama N, Kishida Y, Sekine K, Tanaka S, Aoki T, Watanabe K, Akiyama J, Igari T, Mizokami M, Uemura N, and [Oka S](#).

Impact of HIV Infection on Colorectal Tumors, Prospective Colonoscopic Study in Asia.

JAIDS. 65(3):312-317, 2014.

Matsunaga A, Hishima T, Tanaka N, Yamazaki M, Mochizuki M, Tanuma J, [Oka S](#), Ishizaka Y, Shimura M and Hagiwara S.

DNA methylation profiling can classify HIV-associated lymphomas.

AIDS. 28(4):503-510, 2014.

Suzuki Y, Tachikawa N, [Gatanaga H](#), and [Oka S](#).

Slow turnover of HIV-1 receptors on quiescent CD4⁺ T cells causes prolonged surface retention of gp120 immune complexes *in vivo*.

PLOS One. 9(2):e86479, 2014.

[Gatanaga H](#), Nishijima T, Tsukada K, Kikuchi Y, and [Oka S](#).

Clinical importance of hyper-beta-2 microglobulinuria in patients with HIV-1 infection on tenofovir-containing antiretroviral therapy.

JAIDS. 65(4):e155-157, 2014.

Watanabe K, Aoki T, Nagata N, Tanuma J, Kikuchi Y, [Oka S](#) and [Gatanaga H](#).

Clinical significance of high anti-Entamoeba histolytica antibody titer in asymptomatic HIV-1-infected individuals.

J Infect Dis. 209(11):1801-1807, 2014.

- Nishijima T, Shimbo T, Komatsu H, Hamada Y, Gatanaga H, and Oka S.
Cumulative exposure of ritonavir-boosted atazanavir is associated with cholelithiasis formation in patients with HIV-1 infection.
J Antimicrob Chemother. 67(5):1385-1389, 2014.
- Kinai E, Nishijima T, Mizushima D, Watanabe K, Aoki T, Honda H, Yazaki H, Genka I, Tanuma J, Teruya K, Tsukada K, Gatanaga H, Kikuchi Y, and Oka S.
Long-Term Use of Protease Inhibitors Is Associated with Bone Mineral Density Loss.
AIDS Res Hum Retrovirol. 30(6):553-559, 2014.
- Motozono C, Nozomi Kuse N, Xiaoming Sun X, Rizkallah PJ, Fuller A, Oka S, Cole DK, Sewell AK, and Takiguchi M.
Molecular basis of a dominant T-cell response to an HIV reverse transcriptase 8-mer epitope presented by the protective allele HLA-B*51:01.
J Immunol. 192:3428-3434, 2014.
- Chikata T, Carlson J, Tamura Y, Borghan M, Naruto T, Hashimoto M, Murakoshi H, Le A, Mallal S, John M, Gatanaga H, Oka S, Brumme Z, and Takiguchi M.
Host-specific adaptation of HIV-1 subtype B in the Japanese population.
J Virol. 88(9):4764-4775, 2014.
- Nishijima T, Gatanaga H, Teruya K, Mizushima D, Aoki T, Watanabe K, Kinai E, Honda H, Yazaki H, Tanuma J, Tsukada K, Kikuchi Y, and Oka S.
Skin rash induced by ritonavir-boosted darunavir is common, but generally tolerable in an observational setting.
J Infect Chemother. 20(4):285-287, 2014.
- Tanuma J, Quang VM, Joya A, Hachiya A, Watanabe K, Gatanaga H, Chau NVV, Chinh NT, and Oka S.
Low prevalence of drug resistant HIV-1 transmission while antiretroviral therapy was scaling up in Southern Vietnam in 2008-2012.
JAIDS. 66(4):358-364, 2014.
- Tsuchiya K, Hayashida T, Hamada A, Kato S, Oka S, and Gatanaga H.
Low raltegravir concentration in cerebrospinal fluid in patients with ABCG2 genetic variants.
JAIDS. 66(5):484-486, 2014.
- Sun X, Fujiwara M, Shi Y, Kuse N, Gatanaga H, Appay V, Gao GF, Oka S, and Takiguchi M.
Superimposed epitopes restricted by the same HLA molecule drive distinct HIV-specific CD8⁺ T cell repertoires.
J Immunol. 193:77-84, 2014.
- Ishikane M, Watanabe K, Tsukada K, Nozaki Y, Yanase M, Igari T, Masaki N, Kikuchi Y, Oka S, and Gatanaga H.
Acute Hepatitis C in HIV-1 infected Japanese cohort.
PLOS One. 9(6):e100517, 2014.
- Nishijima T, Kawasaki Y, Tanaka N, Tanuma J, Tsukada K, Teruya K, Kikuchi Y, Gatanaga H, and Oka S.
Long-term tenofovir exposure consistently deteriorates renal function in HIV-1-infected patients with low body weight: results from 10 years of observational cohort.
AIDS. 28(13):1903-1910, 2014.

Nishijima T, Tsuchiya K, Tanaka N, Joya A, Hamada Y, Mizushima D, Aoki T, Watanabe K, Kinai E, Honda H, Yazaki H, Tanuma J, Tsukada K, Teruya K, Kikuchi Y, Oka S, and Gatanaga H. Single nucleotide polymorphisms in UDP-glucuronosyltransferase 1A-3'untranslated region are associated with atazanavir-induced nephrolithiasis in patients with HIV-1 infection: A pharmacogenetic study.

J Antimicrob Chemothera. 69(12):3320-3328, 2014.

Watanabe K, Nagata N, Sekine K, Watanabe K, Igari T, Tanuma J, Kikuchi Y, Oka S, Gatanaga H. Asymptomatic Intestinal Amebiasis in Japanese HIV-1-Infected Individuals.

Am J Trop Med Hyg. 91(4):816-820, 2014.

Nishijima T, Gatanaga H, Teruya K, Tajima T, Kikuchi Y, Hasuo K, Oka S.

Brain magnetic resonance imaging screening is not useful for HIV-1-infected patients without neurological symptoms.

AIDS Res Hum Retrovirus. 30(10):970-974, 2014.

Mizushima D, Tanuma J, Gatanaga H, Lam NT, Dung NTH, Kinh NV, Kikuchi Y, and Oka S.

Low body weight and tenofovir use are risk factors for renal dysfunction in Vietnamese HIV-infected patients. A prospective 18-month observation study.

J Infect Chemothera. 20(12):784-788, 2014.

Aoki A, Moro H, Watanabe T, Asakawa K, Miura S, Moriyama M, Tanabe Y, Kagamu H, Narita I. A case of severe thrombocytopenia associated with acute HIV-1 infection.

Int J STD AIDS. 2014.

Watanabe T, Hamada-Tsutsumi S, Yokomaku Y, Imamura J, Sugiura W, Tanaka Y.

Post-Exposure Prophylactic Effect of HBV-active Antiretroviral Therapy Against Hepatitis B Virus Infection.

Antimicrobial agents and chemotherapy. 59(2):1292-8, 2015.

Shiino T, Hattori J, Yokomaku Y, Iwatani Y, Sugiura W.

Phylogenetic Analysis Reveals CRF01_AE Dissemination between Japan and Neighboring Asian Countries and the Role of Intravenous Drug Use in Transmission.

PLoS one. 9(7):e102633, 2014.

Imahashi M, Izumi T, Watanabe D, Imamura J, Matsuoka K, Ode H, Masaoka T, Sato K, Kaneko N, Ichikawa S, Koyanagi Y, Takaori-Kondo A, Utsumi M, Yokomaku Y, Shirasaka T, Sugiura W, Iwatani Y, Naoe T.

Lack of Association between Intact/Deletion Polymorphisms of the APOBEC3B Gene and HIV-1 Risk.

PLoS one. 9(3):e92861, 2014.

Ota Y, Hishima T, Mochizuki M, Kodama Y, Moritani S, Oyaizu N, Mine S, Ajisawa A, Tanuma J, Uehira T, Hagiwara S, Yajima K, Koizumi Y, Shirasaka T, Kojima Y, Nagai H, Yokomaku Y, Shiozawa Y, Koibuchi T, Iwamoto A, Oka S, Hasegawa H, Okada S, Katano H.

Classification of AIDS-related lymphoma cases between 1987 and 2012 in Japan based on the WHO classification of lymphomas, fourth edition.

Cancer medicine. 3(1):143-153, 2014.

Shibata M, Takahashi M, Yoshino M, Kuwahara T, Nomura T, Yokomaku Y, Sugiura W.

Development and application of a simple LC-MS method for the determination of plasma rilpivirine (TMC-278) concentrations.

The journal of medical investigation. 60(1-2):35-40, 2013.

Katano H, Yokomaku Y, Fukumoto H, Kanno T, Nakayama T, Shingae A, Sugiura W, Ichikawa S, Yasuoka A.

Seroprevalence of Kaposi's sarcoma-associated herpesvirus among men who have sex with men in Japan.

Journal of medical virology. 85(6):1046-1052, 2013.

Katano H, Hishima T, Mochizuki M, Kodama Y, Oyaizu N, Ota Y, Mine S, Igari T, Ajisawa A, Teruya K, Tanuma J, Kikuchi Y, Uehira T, Shirasaka T, Koibuchi T, Iwamoto A, Oka S, Hasegawa H, Okada S, Yasuoka A.

The prevalence of opportunistic infections and malignancies in autopsied patients with human immunodeficiency virus infection in Japan.

BMC Infect Dis. 14:229. Published online 2014 Apr.

Yajima K, Uehira T, Otera H, Koizumi Y, Watanabe D, Kodama Y, Kuzushita N, Nishida Y, Mita E, Mano M, and Shirasaka T.

A case of non-cirrhotic portal hypertension associated with anti-retroviral therapy in a Japanese patient with human immunodeficiency virus infection.

J Infect Chemother. 20(9):582-5, 2014.

Ogawa Y, Watanabe D, Hirota K, Ikuma M, Yajima K, Kasai D, Mori K, Ota Y, Nishida Y, Uehira T, Mano M, Yamane T, and Shirasaka T.

Rapid multiorgan failure due to large B-cell lymphoma arising in human herpesvirus-8-associated multicentric Castleman disease in a human immunodeficiency virus-infected patient.

Intern Med. 253(24):2805-9, 2014.

Furukawa Y, Hashiguchi T, Minami R, Yamamoto M, Takashima H.

Exacerbation of microcytic anemia associated with cessation of anti-retroviral therapy in an HIV-1-infected patient with beta thalassemia.

J Infect Chemother. 20(6):387-389, Jun, 2014.

Tomoko Omiya, Yoshihiko Yamazaki, Megumi Shimada, Kazuko Ikeda, Seiko Ishiuti-Ishitani, Yoko Sumikawa, Tsuno and Katsumi Ohira.

Mental health of patients with human immunodeficiency virus in Japan :a comparative analysis of employed and unemployed patients.

AIDS Care. Vol.26, No.11, 1370-1378, 2014.

Iijima K, Okudaira N, Tamura M, Doi A, Saito Y, Shimura M, Goto M, Matsunaga A, Kawamura YI, Otsubo T, Dohi T, Hoshino S, Kano S, Hagiwara S, Tanuma J, Gatanaga H, Baba M, Iguchi T, Yanagita M, Oka S, Okamura T, Ishizaka Y.

Viral protein R of human immunodeficiency virus type-1 induces retrotransposition of long interspersed element-1.

Retrovirology. 10:83, 2013.

Motozono C, Miles JJ, Hasan Z, Gatanaga H, Meribe SC, Price DA, Oka S, Sewell AK, Ueno T.

CD8(+) T cell cross-reactivity profiles and HIV-1 immune escape towards an HLA-B35-restricted immunodominant Nef epitope.

PLoS One. 8(6):e66152, 2013.

Nishijima T, Komatsu H, Teruya K, Tanuma J, Tsukada K, Gatanaga H, Kikuchi Y, Oka S.

Once-daily darunavir/ritonavir and abacavir/lamivudine versus tenofovir/emtricitabine for treatment-naïve patients with a baseline viral load of more than 100000 copies/ml.

AIDS. 27(5):839-42, 2013.

Yanagisawa K, Tanuma J, Hagiwara S, Gatanaga H, Kikuchi Y, Oka S.
Epstein-Barr viral load in cerebrospinal fluid as a diagnostic marker of central nervous system involvement of AIDS-related lymphoma.
Intern Med. 52(9):955-9, 2013.

Shindo T, Nishijima T, Teruya K, Mizushima D, Gatanaga H, Oka S.
Combination of high-dose dexamethasone and antiretroviral therapy rapidly improved and induced long-term remission of HIV-related thrombocytopenic purpura.
J Infect Chemother. 19(6):1170-2, 2013.

Lee JH, Hachiya A, Shin SK, Lee J, Gatanaga H, Oka S, Kirby KA, Ong YT, Sarafianos SG, Folk WR, Yoo W, Hong SP, Kim SO.
Restriction fragment mass polymorphism (RFMP) analysis based on MALDI-TOF mass spectrometry for detecting antiretroviral resistance in HIV-1 infected patients.
Clin Microbiol Infect. 19(6):E263-70, 2013.

Nishijima T, Shimbo T, Komatsu H, Takano M, Tanuma J, Tsukada K, Teruya K, Gatanaga H, Kikuchi Y, Oka S.
Urinary beta-2 microglobulin and alpha-1 microglobulin are useful screening markers for tenofovir-induced kidney tubulopathy in patients with HIV-1 infection: a diagnostic accuracy study.
J Infect Chemother. 19(5):850-7, 2013.

Hamada Y, Nagata N, Honda H, Teruya K, Gatanaga H, Kikuchi K, Oka S.
Idiopathic oropharyngeal and esophageal ulcers related to HIV infection successfully treated with antiretroviral therapy alone.
Intern Med. 52(3):393-395, 2013.

Yagita Y, Kuse N, Kuroki K, Gatanaga H, Carlson JM, Chikata T, Brumme ZL, Murakoshi H, Akahoshi T, Pfeifer N, Mallal S, John M, Ose T, Matsubara H, Kanda R, Fukunaga Y, Honda K, Kawashima Y, Ariumi Y, Oka S, Maenaka K, Takiguchi M.
Distinct HIV-1 escape patterns selected by cytotoxic T cells with identical epitope specificity.
J Virol. 87(4):2253-63, 2013.

Kuse, Akahoshi, Gatanaga, Ueno, Oka, Takiguchi.
Selection of TI8-8V mutant associated with long-term control of HIV-1 by cross-reactive HLA-B*51:01-restricted cytotoxic T cells.
Journal of Immunology. 193(10):4814-4822, 2014.

Eguchi, Takatsuki, Soyama, Hidaka, Nakao, Shirasaka, Yamamoto, Tachikawa, Gatanaga, Kugiyama, Yatsunashi, Ichida, Kokudo.
Analysis of the hepatic functional reserve, portal hypertension, and prognosis of patients with human immunodeficiency virus/hepatitis C virus coinfection through contaminated blood products in Japan.
Transplantation Proceedings. 46(3):736-738, 2014.

Rahman, Kuse, Murakoshi, Chikata, Gatanaga, Oka, Takiguchi.
Raltegravir and elvitegravir-resistance mutation E92Q affects HLA-B*40:02-restricted HIV-1-specific CTL recognition.
Microbes and Infection. 16(5):434-438, 2014.

Sakurai D, Iwatani Y, Ohtani H, Naruse T, Terunuma H, Sugiura W, Kimura A.
APOBEC3H polymorphisms associated with the susceptibility to HIV-1 infection and AIDS progression in Japanese.
Immunogenetics. 2015(in press).

Yoshida S, Hattori J, Matsuda M, Okada K, Kazuyama Y, Hashimoto O, Ibe S, Fujisawa SI, Chiba H, Tatsumi M, Kato S, Sugiura W.

Japanese External Quality Assessment Program to Standardize HIV-1 Drug-Resistance Testing (JEQS2010 Program) Using In Vitro Transcribed RNA as Reference Material.

AIDS research and human retroviruses. 2014(in press).

Kudoh A, Takahama S, Sawasaki T, Ode H, Yokoyama M, Okayama A, Ishikawa A, Miyakawa K, Matsunaga S, Kimura H, Sugiura W, Sato H, Hirano H, Ohno S, Yamamoto N, Ryo A.

The phosphorylation of HIV-1 Gag by atypical protein kinase C facilitates viral infectivity by promoting Vpr incorporation into virions.

Retrovirology. 11(1):9, 2014.

Gu L, Kawana-Tachikawa A, Shiino T, Nakamura H, Koga M, Kikuchi T, Adachi E, Koibuchi T, Ishida T, Gao GF, Matsushita M, Sugiura W, Iwamoto A, Hosoya N.

Development and Customization of a Color-Coded Microbeads-Based Assay for Drug Resistance in HIV-1 Reverse Transcriptase.

PloS one. 9(10):e109823, 2014.

Nishizawa M, Hattori J, Shiino T, Matano T, Heneine W, Johnson JA, Sugiura W.

Highly-Sensitive Allele-Specific PCR Testing Identifies a Greater Prevalence of Transmitted HIV Drug Resistance in Japan.

PLoS One. 8(12):e83150, 2013.

Saito A, Nomaguchi M, Kono K, Iwatani Y, Yokoyama M, Yasutomi Y, Sato H, Shioda T, Sugiura W, Matano T, Adachi A, Nakayama EE, Akari H.

TRIM5 genotypes in cynomolgus monkeys primarily influence inter-individual diversity in susceptibility to monkey-tropic human immunodeficiency virus type 1.

The Journal of general virology. 94(Pt 6):1318-1324, 2013.

Nii-Trebi NI, Ibe S, Barnor JS, Ishikawa K, Brandful JA, Ofori SB, Yamaoka S, Ampofo WK, Sugiura W.

HIV-1 Drug-Resistance Surveillance among Treatment-Experienced and -Naïve Patients after the Implementation of Antiretroviral Therapy in Ghana.

PloS one. 8(8):e71972, 2013.

Jahanbakhsh F, Ibe S, Hattori J, Monavari SH, Matsuda M, Maejima M, Iwatani Y, Memarnejadian A, Keyvani H, Azadmanesh K, Sugiura W.

Molecular epidemiology of HIV type 1 infection in Iran: genomic evidence of CRF35_AD predominance and CRF01_AE infection among individuals associated with injection drug use.

AIDS research and human retroviruses. 29(1):198-203, 2013.

Jahanbakhsh F, Hattori J, Matsuda M, Ibe S, Monavari SH, Memarnejadian A, Aghasadeghi MR, Mostafavi E, Mohraz M, Jabbari H, Kamali K, Keyvani H, Azadmanesh K, Sugiura W.

Prevalence of transmitted HIV drug resistance in Iran between 2010 and 2011.

PloS one. 8(4):e61864, 2013.

Hiroki Yagura, Mayu Shibata¹, Hiroyuki Kushida, Munehiro Yoshino, Izumi Nakata, Tomoko Uehira, Shin-ya Morita, Takuma Shirasaka, Reiko Teraoka, Takeshi Kuwahara, Shuji Kitagawa. Thermal Stability of Tenofovir Disoproxil Fumarate in Suspension.

Jpn J Pharm Health Care Sci. 40(4): 230-236, 2014.